

令和5年度 武生高等学校定時制 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・その他

(意見を聞いた方)
PTA会長1名 副会長1名 会計監査1名
教育振興会副会長2名
校友会会長1名 計7名

○教育課程・学習指導

- ・学校には登校するが、授業に参加しない生徒への対応については、生徒の状況をよく把握した上で適切に対応してほしい。
- ・例年、支援を必要とする生徒(発達障がい、不安障がい等の精神疾患、前籍校から不登校など)が増えている中で、通級指導に積極的に取り組んでいることは評価できる。
- ・生徒が自分の特性を理解したうえで、対処スキルを学ぶ機会は貴重である。

○生徒支援

- ・社会人になってもマナーを守るとは難しい時代であるが、粘り強く生徒に働きかけてもらえるのはありがたい。
- ・自分自身へのフィードバックをさせることはすばらしい。
- ・外部機関との連携も今後も継続して行ってほしい。
- ・自動二輪免許の取得・通学については、引き続き情報収集してほしい。生徒の命を守ることは大事である。
- ・卒業年次に就職や進学の面接に臨めるように、メリハリをもって指導してほしい。
- ・部活動での活躍は素晴らしい。特に、2年連続で生活体験発表で全国大会に出場できたこと、複数の運動部が全国大会に出場できたことはすばらしい。

○進路支援

- ・ようこそ先輩などの就職や進路に関する催しを、いろいろと工夫して実施してもらっていることはありがたい。できれば、高校2年の3月よりも早い時期から取り組む方が良いのではないか。
- ・定時制から、福井大学教育学部、福井県立大学への合格実績がでたことは素晴らしい。
- ・就職後の離職の状況をしっかり追って、進路支援に生かしてもらえるとよい。

○教育相談・保健

- ・昼食に困っている生徒への支援策の一環として、地域NPOの連携で行っている「おにぎり食堂」の取り組みは素晴らしい。今年度はスタッフと生徒とのコミュニケーションが増えたとのことで、喜ばしい。
- ・相談にくる生徒の保護者との情報共有は難しい。両親には伏せておいてほしいという相談も多い。ただ、学校だけで抱えられない内容(リストカット、オーバードーズ、妊娠などの事案)は学校としては生徒を説得し、情報共有していきたい。命に関わる場合には生徒の了解がなくても保護者と共有していきたい。

○全体(総括)

- ・評価委員会の開催に感謝申し上げたい。
- ・展開と可能性に期待し、外部の我々も協力していきたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・多様な生徒が在籍する本校で、生徒たちがそれぞれに社会自立に必要な態度・考え方を習得できるよう、各々が今年度の反省を踏まえた改善策を着実に実行に移していきたい。